



関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>他の学生に対する補助・指導の準備として実験書・指導書の作成を行い、この作成した実験書・指導書を基に、本人が担当する実験にあらかじめ習熟し、併せて他の学生の実験し指導ができるようにシミュレーションしておくこと。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>実験の担当者は、実験補助・指導およびレポートの添削を行うこと。その他の学生は、レポートの作成を行うこと。</p>	

授業の明細			
	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	オリエンテーション(第1回目の最初に目的、意義、実施方法について説明を受ける。)および実験書・指導書の作成	所属研究室以外の学生に対する補助・指導の準備として実験書・指導書の作成を行うこと。および所属研究室の実験準備および予備実験を行うことが到達目標である。	作成した実験書・指導書を基に、本人が担当する実験に習熟し、併せて複数の学生に実験指導ができるようにシミュレーションしておくこと。
2			
3			
4			
5	専攻科1年生の所属する研究室間で調整を行い、担当の研究室に集合し、実験を行う	所属研究室で本人が担当する実験は、実験補助・指導およびレポートの添削を行うこと。その他の学生は、担当者の指示に従って実験を行い、レポートの作成を行うことが到達目標である。なお、第9回に予備日を設け、進捗状況の調整を行う。 【実験テーマ】 1・柔軟性をもつフォトレジスト材の合成と評価(山崎) 2・シクロデキストリン含有ポリマー分離膜の作成と評価(山崎) 3・機能性界面活性剤の設計と開発(高田) 4・界面物性評価装置の設計と開発(高田) 5・走査型電子顕微鏡用の試料作成法(島袋) 6・光学顕微鏡による微小ビーズの観察と画像解析による変位測定(島袋) 7・共焦点顕微鏡を用いた活性酸素種の観察(根来) 8・蛍光プレートリーダーによる活性酸素種の定量(根来)	実験の担当者は、実験補助・指導およびレポートの添削を行うこと。その他の学生は、レポートの作成を行うこと。
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15	まとめ、授業アンケート		
総授業時間数			45 時間